

**製品名: CD299 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08332**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

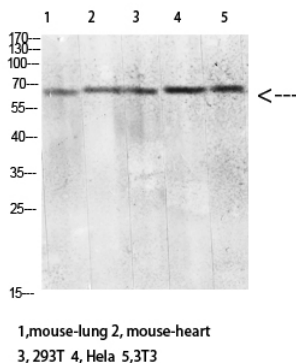
遺伝子名	CLEC4M CD209L CD209L1 CD299
別名	C-type lectin domain family 4 member M (CD209 antigen-like protein 1;DC-SIGN-related protein;DC-SIGNR;Dendritic cell-specific ICAM-3-grabbing non-integrin 2;DC-SIGN2;Liver/lymph node-specific ICAM-3-grabbing non-integrin;L-SIGN;CD antigen CD299)
遺伝子 ID	10332.0
SwissProt ID	Q9H2X3
免疫原	アミノ酸配列範囲 271-320 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

## 背景

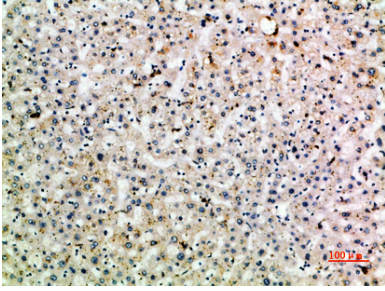
この遺伝子は膜貫通受容体をコードしており、リンパ節および肝臓の内皮細胞で発現することから、しばしば L-SIGN と呼ばれる。コードされているタンパク質は自然免疫系に関与し、寄生虫からウイルスに至るまで、進化的に多様な多数の病原体を認識し、公衆衛生に大きな影響を与えている。このタンパク質は、N 末端膜貫通ドメイン、タンデムリピートネックドメイン、および C 型レクチン糖鎖認識ドメインという 3 つの異なるドメインから構成される。C 型レクチンドメインとネックドメインからなる細胞外領域は、微生物および内因性細胞表面上の糖鎖リガンドに結合することで、病原体認識受容体と細胞接着受容体という二重の機能を有する。ネック領域はホモオリゴマー形成に重要であり、これにより受容体は多価リガンドに高い結合力で結合することができる。変異体および代替産物: 追加のアイソフォームが存在すると考えられる。複数のスプライシングイベントがモジュール方式で独立して発生する可能性がある。選択的スプライシングによる膜貫通ドメインをコードするエクソンの欠失により、可溶性アイソフォームが生成されます。ドメイン: ネックドメインとも呼ばれるタンデムリピートドメインは、オリゴマー化を媒介します。機能: 肝臓の末梢免疫監視に関与する病原体認識受容体と考えられます。病原体のエンドサイトーシスを媒介し、その後リソソーム区画で分解される可能性があります。HIV-1 gp120、HIV-2 gp120、SIV gp120、エボラウイルス糖タンパク質、HCV E2、ヒト SARS コロナウイルスタンパク質 S など、さまざまな病原体抗原中の高マンノース型 N 結合オリゴ糖をカルシウム依存的に認識すると考えられます。マンノース様炭水化物に結合することで、ICAM3 の受容体となると考えられます。SARS コロナウイルスのコレセプターであると考えられる。、その他:試験管内において、HIV-1 のレセプターであり、HIV-1 を許容 T 細胞に伝達する。、オンライン情報:DC-SIGNR,多型:タンデムリピートドメインの反復数は、アレルあたり 3~9 回の範囲で変化することが示されており、選択的スプライシングに加えてさらなる変異に寄与している。350 人の白人を対象とした研究では、示されている 7 回の反復を含む形態が最も頻度の高いもの (53.9%) であることが示された。、類似性:C 型レクチンドメインを 1 つ含む。、サブユニット:ホモテトラマー。 HIV-1 gp120、HIV-2 gp120、SIV gp120、エボラウイルス糖タンパク質、HCV E2、ヒト SARS コロナウイルス S タンパク質など、多くのウイルス表面糖タンパク質に結合する。、組織特異性: 主に肝臓洞内皮細胞およびリンパ節で高発現する。胎盤内皮細胞にも存在するが、マクロファージには存在しない。II 型肺胞細胞および肺内皮細胞にも発現する。、

## 研究分野

## 画像データ



マウス肺のウェスタンブロット分析、抗体は 2000 倍に希釈された。二次抗体は 1:20000 倍に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された